

～地すべり災害から人の命を救いたい～

日本の中小企業の技術がベトナムの土砂災害を防ぐ

国際協力機構（JICA）は9月2日（火）、株式会社エスイー（東京都新宿区）が有する土砂災害の防災製品の活用可能性をベトナムで調査する「道路法面災害対策（グラウンドアンカー工法）の技術普及案件化調査」の仮採択を決定しました。



=====

ベトナムでは、急峻な山岳地帯が国土の4分の3を占め、地盤が脆弱であるものの、抜本的な防災対策が講じられていないため、雨期の集中豪雨による地すべりなどの土砂災害が多発しています。尊い人命はもとより、災害による経済的損失を含めた被害額はアセアン諸国の中でも最大規模に達するなど、早急な課題解決が求められています。

そこで、これらの問題を解決すべくエスイー社は、本事業を通じて、同社が有する道路法面の災害対策に有効な防災技術「グラウンドアンカー工法」を用いた現地での防災ワークショップや現地政府の防災担当者を対象とした本邦受入活動等を実施し、ベトナムでの地すべり災害の防止と道路防災意識の向上、そしてベトナム経済の安定した成長への貢献を目指します。



エスイー社
製品使用後



JICA では、中小企業の製品・技術を途上国の開発へ活用する可能性、及び企業の海外ビジネス展開の可能性を検討するため、事前調査を支援する枠組み「中小企業海外展開支援調査～案件化調査～」を実施しています。

2012年度から実施している本事業は、本年5月に2014年度第1回公示を行い、176件の応募のうち26件が採択されました。採択された企業は、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施していきます。

以上